



2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月4日

上場会社名 リョービ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5851 URL <https://www.ryobi-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦上 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部副本部長 (氏名) 有廣 弘 TEL 03-3501-0511
 兼 財務部部长
 四半期報告書提出予定日 2022年8月4日
 配当支払開始予定日 2022年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第2四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	113,606	18.9	2,048	—	3,091	—	1,807	700.6
2021年12月期第2四半期	95,567	23.0	△621	—	101	—	225	—

(注) 包括利益 2022年12月期第2四半期 13,676百万円 (126.3%) 2021年12月期第2四半期 6,042百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	55.83	—
2021年12月期第2四半期	6.97	—

2022年12月期第2四半期の経常利益の対前年同四半期増減率は、1,000%以上となるため「—」と記載しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	301,572	145,832	45.3
2021年12月期	279,422	131,717	44.0

(参考) 自己資本 2022年12月期第2四半期 136,754百万円 2021年12月期 122,926百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2022年12月期	—	20.00	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	248,000	25.2	6,400	—	7,600	—	5,100	—	157.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

経常利益の対前期増減率は、1,000%以上となるため「—」と記載しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー 社（社名） 、 除外 ー 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、〔添付資料〕10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期2Q	32,646,143株	2021年12月期	32,646,143株
② 期末自己株式数	2022年12月期2Q	277,483株	2021年12月期	277,412株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期2Q	32,368,687株	2021年12月期2Q	32,368,814株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

(補足資料) 2022年12月期第2四半期決算補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年1月1日～2022年6月30日)における当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の再拡大や世界的なサプライチェーンの混乱による影響がありました。総じて緩やかな回復基調にありました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、エネルギー価格や資材価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループは積極的な販売活動を進め、原価低減や生産性の向上、業務の効率化などの諸施策を推進しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおり前年同期に比べて増収、増益となりました。

<連結業績> (単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減
売上高	95,567	113,606	18,038 (18.9%)
営業利益又は 営業損失(△)	△621 (△0.7%)	2,048 (1.8%)	2,669 (-)
経常利益	101 (0.1%)	3,091 (2.7%)	2,989 (-)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	225 (0.2%)	1,807 (1.6%)	1,581 (700.6%)

()内は売上高利益率、ただし増減欄は増減率

セグメント別では、ダイカスト事業は、前年同期に比べて増収、増益となりました。売上高は、国内、海外ともに増加しました。世界的な半導体不足や中国上海のロックダウンによる自動車生産への影響で、生産量(重量)については減少しましたが、原料(アルミ)価格上昇分の販売価格への転嫁が進んだことや、円安の効果により在外子会社の売上高が増加したことなどにより増収となりました。利益については、増収の効果などにより増益となりました。

住建機器事業は、前年同期に比べて増収、減益となりました。売上高は、国内、海外ともに増加しました。利益については、原価低減や経費節減に努めたものの、中国人民元高による調達コストの上昇などにより減益となりました。

印刷機器事業は、前年同期に比べて増収、増益となりました。売上高は、国内、海外ともに増加しました。国内においては、政府等の補助金による設備投資の促進効果により増収となり、海外においては、欧米向けの輸出が堅調に推移しました。利益については、増収に加え、原価低減効果もあり、増益となりました。

①セグメント別売上高 (単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減
ダイカスト	82,140 (86.0%)	98,160 (86.4%)	16,019 (19.5%)
住建機器	4,520 (4.7%)	4,885 (4.3%)	365 (8.1%)
印刷機器	8,817 (9.2%)	10,458 (9.2%)	1,641 (18.6%)

()内は構成比率、ただし増減欄は増減率

②セグメント別営業利益又はセグメント別営業損失 (単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減
ダイカスト	△369 (△0.5%)	1,184 (1.2%)	1,553 (-)
住建機器	233 (5.2%)	127 (2.6%)	△106 (△45.4%)
印刷機器	△488 (△5.5%)	744 (7.1%)	1,233 (-)

()内は売上高利益率、ただし増減欄は増減率

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ221億50百万円増加し、3,015億72百万円となりました。増加は主に受取手形及び売掛金100億93百万円、有形固定資産97億43百万円、棚卸資産62億24百万円等によるものです。その一方で、減少は現金及び預金57億45百万円等がありました。

負債は、前連結会計年度末に比べ80億35百万円増加し、1,557億40百万円となりました。増加は主に長・短借入金62億66百万円等によるものです。その一方で、減少は社債15億円等がありました。受取手形割引高及びリース債務を除いた有利子負債残高は、785億35百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ141億15百万円増加し、1,458億32百万円となりました。増加は主に為替換算調整勘定114億39百万円、利益剰余金22億1百万円等によるものです。純資産から非支配株主持分を差し引いた自己資本は、前連結会計年度末に比べ138億28百万円増加し、1,367億54百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.3ポイント増加し、45.3%となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第2四半期連結会計期間末	増減
総資産	279,422	301,572	22,150 (7.9%)
自己資本	122,926 (44.0%)	136,754 (45.3%)	13,828 (11.2%)
有利子負債	73,769 (26.4%)	78,535 (26.0%)	4,766 (6.5%)

() 内は対総資産比率、ただし増減欄は増減率

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ58億35百万円減少し、215億53百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ106億20百万円減少し、5億13百万円の資金増加となりました。資金増加は主に減価償却費89億72百万円、税金等調整前四半期純利益29億63百万円等によるものです。その一方で、資金減少は売上債権の増加69億62百万円、棚卸資産の増加34億12百万円等がありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ8億27百万円支出が増加し、77億5百万円の資金減少となりました。資金減少は主に有形固定資産の取得による支出79億61百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ11億72百万円増加し、4億5百万円の資金増加となりました。資金増加は主に長・短借入金の増加23億19百万円等によるものです。その一方で、資金減少は社債の償還による支出15億円等がありました。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	11,133	513	△10,620
投資活動による キャッシュ・フロー	△6,878	△7,705	△827
財務活動による キャッシュ・フロー	△767	405	1,172

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2022年8月4日)公表いたしました「2022年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 240,000	百万円 5,300	百万円 5,400	百万円 3,800	円 銭 117.40
今回修正予想(B)	248,000	6,400	7,600	5,100	157.56
増減額(B-A)	8,000	1,100	2,200	1,300	40.16
増減率(%)	3.3	20.8	40.7	34.2	—
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	198,073	△1,524	4	△4,397	△135.87

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,538	22,793
受取手形及び売掛金	44,327	54,421
有価証券	740	650
商品及び製品	19,603	20,089
仕掛品	14,813	16,645
原材料及び貯蔵品	18,092	21,998
その他	3,505	4,579
貸倒引当金	△30	△23
流動資産合計	129,591	141,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,793	34,577
機械装置及び運搬具(純額)	51,314	59,340
土地	15,598	15,804
建設仮勘定	11,733	10,631
その他(純額)	5,718	6,547
有形固定資産合計	117,158	126,902
無形固定資産		
その他	3,159	3,105
無形固定資産合計	3,159	3,105
投資その他の資産		
投資有価証券	15,772	16,236
その他	13,802	14,236
貸倒引当金	△62	△62
投資その他の資産合計	29,512	30,409
固定資産合計	149,830	160,417
繰延資産		
社債発行費	0	—
繰延資産合計	0	—
資産合計	279,422	301,572

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,606	41,566
短期借入金	36,498	42,109
1年内償還予定の社債	1,500	—
1年内返済予定の長期借入金	13,005	5,783
未払法人税等	636	518
賞与引当金	387	401
その他	17,131	20,251
流動負債合計	110,765	110,630
固定負債		
長期借入金	22,765	30,643
退職給付に係る負債	7,872	7,517
その他	6,301	6,948
固定負債合計	36,939	45,109
負債合計	147,705	155,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,472	18,472
資本剰余金	21,875	21,883
利益剰余金	71,587	73,789
自己株式	△346	△346
株主資本合計	111,588	113,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,503	5,613
土地再評価差額金	811	811
為替換算調整勘定	4,288	15,728
退職給付に係る調整累計額	734	802
その他の包括利益累計額合計	11,337	22,956
非支配株主持分	8,790	9,077
純資産合計	131,717	145,832
負債純資産合計	279,422	301,572

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
売上高	95,567	113,606
売上原価	86,457	101,487
売上総利益	9,110	12,119
販売費及び一般管理費	9,731	10,070
営業利益又は営業損失(△)	△621	2,048
営業外収益		
受取利息	95	68
受取配当金	192	221
受取賃貸料	82	77
為替差益	74	674
持分法による投資利益	35	14
商標権使用料	136	140
助成金収入	315	40
その他	352	364
営業外収益合計	1,285	1,601
営業外費用		
支払利息	458	433
減価償却費	8	6
その他	95	118
営業外費用合計	562	558
経常利益	101	3,091
特別利益		
固定資産処分益	3	10
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	3	10
特別損失		
固定資産処分損	47	131
投資有価証券評価損	—	6
特別損失合計	47	137
税金等調整前四半期純利益	57	2,963
法人税等	△143	946
四半期純利益	200	2,017
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△24	210
親会社株主に帰属する四半期純利益	225	1,807

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	200	2,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	703	150
土地再評価差額金	0	—
為替換算調整勘定	4,754	11,140
退職給付に係る調整額	223	68
持分法適用会社に対する持分相当額	159	299
その他の包括利益合計	5,841	11,659
四半期包括利益	6,042	13,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,049	13,425
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	251

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	57	2,963
減価償却費	8,475	8,972
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12	△7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12	14
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	18	△188
受取利息及び受取配当金	△288	△289
支払利息	458	433
助成金収入	△315	△40
持分法による投資損益 (△は益)	△35	△14
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	6
固定資産処分損益 (△は益)	44	121
売上債権の増減額 (△は増加)	2,579	△6,962
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,276	△3,412
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△368	△901
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,426	△1,062
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	683	1,065
その他	△72	122
小計	11,360	820
利息及び配当金の受取額	349	323
利息の支払額	△453	△437
助成金の受取額	371	48
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△493	△241
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,133	513
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,038	△7,961
有形固定資産の売却による収入	321	57
有価証券の取得による支出	△650	△650
有価証券の売却による収入	680	650
投資有価証券の取得による支出	△5	△2
投資有価証券の売却による収入	13	—
定期預金の預入による支出	△1,214	△1,214
定期預金の払戻による収入	1,214	1,214
その他	△199	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,878	△7,705
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,585	3,088
長期借入れによる収入	1,844	9,423
長期借入金の返済による支出	△3,312	△10,192
社債の償還による支出	△2,800	△1,500
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△3	△325
その他	△80	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	△767	405
現金及び現金同等物に係る換算差額	821	951
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,309	△5,835
現金及び現金同等物の期首残高	25,405	27,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,715	21,553

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しています。

これにより、顧客から原材料等を仕入れ、加工を行ったうえで当該顧客に販売する有償受給取引等において、従来は原材料等の仕入価格を含めた対価の総額で収益を認識していましたが、原材料等の仕入価格を除いた対価の純額で認識する方法に変更しています。また、金型の費用を一定期間にわたって顧客から回収する取引について、従来は回収期間にわたり収益を認識していましたが、一時点で認識する方法に変更しています。加えて、従来は出荷時に収益を認識していましたが販売の一部について、検収時に認識する方法に変更しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,509百万円減少し、売上原価は2,695百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ185百万円増加しています。また、利益剰余金の当期首残高は718百万円増加しています。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しています。これによる当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	ダイカスト	住建機器	印刷機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	82,140	4,520	8,817	95,478	89	95,567	—	95,567
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29	—	—	29	16	46	(46)	—
計	82,169	4,520	8,817	95,507	106	95,614	(46)	95,567
セグメント利益又は 損失(△)	△369	233	△488	△624	1	△623	2	△621

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及びゴルフ場の経営を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等によるものです。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と一致しています。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	ダイカスト	住建機器	印刷機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	98,160	4,885	10,458	113,505	101	113,606	—	113,606
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25	—	—	25	3	29	(29)	—
計	98,186	4,885	10,458	113,531	104	113,635	(29)	113,606
セグメント利益又は 損失(△)	1,184	127	744	2,056	△8	2,048	△0	2,048

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及びゴルフ場の経営を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等によるものです。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と一致しています。

2022年12月期 第2四半期決算補足資料

2022年8月4日
リョービ株式会社

(単位:百万円、%)

	2020/12		2021/12		2022/12	
	第2四累計	通期	第2四累計	通期	第2四累計	通期(予想)
売上高	77,700	170,973	95,567	198,073	113,606	248,000
営業利益	-3,551 -4.6	-1,789 -1.0	-621 -0.7	-1,524 -0.8	2,048 1.8	6,400 2.6
経常利益	-2,775 -3.6	-35 -0.0	101 0.1	4 0.0	3,091 2.7	7,600 3.1
親会社株主に 帰属する当期純利益	-1,668 -2.1	-697 -0.4	225 0.2	-4,397 -2.2	1,807 1.6	5,100 2.1
1株当たり当期純利益	-51.55円	-21.54円	6.97円	-135.87円	55.83円	157.56円

セグメント別売上高

	構成比		構成比		構成比		構成比	
ダイカスト	64,648 83.2	145,869 85.3	82,140 86.0	169,898 85.8	98,160 86.4	215,000 86.7		
住建機器	4,672 6.0	9,406 5.5	4,520 4.7	9,574 4.8	4,885 4.3	10,000 4.0		
印刷機器	8,302 10.7	15,513 9.1	8,817 9.2	18,393 9.3	10,458 9.2	23,000 9.3		
国内	43,560 56.1	91,088 53.3	51,251 53.6	103,649 52.3	53,193 46.8	112,800 45.5		
海外	34,140 43.9	79,884 46.7	44,315 46.4	94,424 47.7	60,412 53.2	135,200 54.5		

セグメント別営業利益

	利益率		利益率		利益率		利益率	
ダイカスト	-3,509 -5.4	-1,612 -1.1	-369 -0.5	-1,449 -0.9	1,184 1.2	5,400 2.5		
住建機器	372 8.0	799 8.5	233 5.2	362 3.8	127 2.6	300 3.0		
印刷機器	-402 -4.8	-944 -6.1	-488 -5.5	-417 -2.3	744 7.1	700 3.0		

	比率		比率		比率		比率	
総資産	253,684	258,660	270,051	279,422	301,572	—		
自己資本	114,851 45.3	117,147 45.3	123,210 45.6	122,926 44.0	136,754 45.3	—		
利益剰余金	75,337 29.7	76,309 29.5	76,534 28.3	71,587 25.6	73,789 24.5	—		
有利子負債	77,353 30.5	72,475 28.0	73,547 27.2	73,769 26.4	78,535 26.0	73,000		

設備投資	9,787	17,392	6,031	13,070	8,825	17,000
減価償却費	8,225	16,402	8,475	17,240	8,972	18,000

営業キャッシュ・フロー	-2,295	11,795	11,133	14,900	513	—
投資キャッシュ・フロー	-10,825	-17,567	-6,878	-12,162	-7,705	—
財務キャッシュ・フロー	15,197	9,718	-767	-1,936	405	—

(単位:人)

期末人員	7,540	7,396	7,340	7,243	7,266	—
------	-------	-------	-------	-------	-------	---

(’22/12期第3四半期以降の想定為替レート)

米ドル	125円	英ポンド	156円
中国元	19.0円	タイバーツ	3.6円